資料１

ボタン電池等及びボタン電池等使用製品に関するアンケート調査結果

【ボタン電池等の使用実態について】

- ボタン電池等使用製品として、おもちゃ、体温計、音の出る絵本、時計・タイマー等を所有する割合が高い。特に、おもちゃ、音の出る絵本については複数所有する家庭が多い。
- ボタン電池等は、主に家電量販店、100 円ショップ、スーパー、ホームセンターで購入されている。購入の際に優先する事項は「価格」が 85.0%と最も多く、次いで「メーカー名・ブランド」が 30.5%だった。
- 電池工業会会員の電池を購入するは 4 割、会員以外のプライベートブランドの電池を購入するは 2 割強である。

【ボタン電池等の安全対策に対する意識について】

- 注意表記について、「あるが見ていない」と「注意表記がない、気が付かない」を合わせた回答が、ボタン電池等では約 6 割、ボタン電池等使用製品では 5 割強だった。
- ボタン電池等使用製品を使用する際の注意している事項では、おもちゃ、おもちゃ以外の製品ともに、4 割以上が「特に注意していない」と回答している。注意している事項で最も多いのは、おもちゃでは 4 割が「電池室が容易に開かない構造のものを選ぶ」、おもちゃ以外の製品では 3 割が「子供にさわらせない」である。
- ボタン電池等を使用する際に注意していることでは、「手の届かない場所に保管する」「子供の見えない場所に保管する」が多くなっているが、いずれも 4 割程度で、2 割以上が「特に注意していない」と回答している。

【「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験について】

- 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」の経験は全体の 18.9%（198 件）であり、そのうち実際に誤飲した経験は 0.5%（5 件）あった。
- 経験のあった 198 件の内訳は「交換時や処分時に少しの間放置した【ちょい置き】(47 件)」「電池使用製品内にあったものが外れた【製品から外れた】(45 件)」「所定の保管場所にあったものを子供が取り出した【保管】(42 件)」「子供の手の届く所に放置していた（置き場所を気にしていなかった）【放置】(28 件)」「わからない・わすれた（36 件)」だった。
- 「【製品から外れた】(45 件)」の製品は、おもちゃ、リモコン、時計・タイマー等となっている。また、どのようにして電池が外れたかは、半数以上が「子供（本人）が製品をいじって電池を取り出した」(25 件）であり、次いで「子供（本人）が製品を（投げたり噛んだりして）壊して電池が出てしまった」(6 件)「電池のフタを閉め忘れた。きちんと閉まっていなかった」(5 件)「床に製品が落ち、電池が出てしまった」(3 件）の順だった。
- 電池が【製品から外れた】製品の電池室は、工具を使用しないでふたが開けられる製品が半数以上だった。
- 電池が【製品から外れた】製品の入手経路は「家電量販店・スーパー・ホームセンター」「おもちゃ・ベビー・子供用品専門店」「100 円ショップ」「人からもらった」「景品・」粗品でもらった」など様々

- 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験のうち「未開封のパッケージ内にあった電池を子供が取出した」が 1 割弱（17 件）あった。
- 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験全体での年齢構成は 2 歳が最多であり、次いで 1 歳、3 歳であったが、「危害」「危険」経験だけでの年齢構成は、1 歳が最多であり、次
- 事故が起きた原因についてどう思うかは「保護者が子供から目を離してしまった」「置き場所について、保護者の配慮が足りなかった」という回答がそれぞれ 50.0%、46.5%で、保護者の不注意と思っており、大半がヒヤリ・ハットを含む事故の経験をどこにも報告していない。
- 「電池等使用製品から電池が外れた」の回答者では 37.8%が「製品に問題があった」と回答している。

【事故についての認知】
- ボタン電池等の危険性についての認知度が高まりつつあるが、未だなお認知していない人は 3 割いる。
- コイン形リチウム電池の誤飲について「死に至ることがある」危険性がある事を知らない人が半数以上

1. 調査の概要

(1) 調査地域と調査対象者、有効回答数

東京都に在住または在勤・在学し、1 歳以上 5 歳以下の自分の子供と同居する男女で、ボタン電池等が入っている可能性のある製品を所有するもの　1,046 人

(2) 調査方法

WEB を利用したインターネットアンケート調査

(3) 調査実施期間

平成 27 年 8 月 4 日（火曜日）から 8 月 11 日（火曜日）まで

2. 調査結果

(1) ボタン電池等使用製品の所有状況 SC8

ボタン電池等使用製品の所有状況について図 1 と表 1 に示す。「おもちゃ」が 75.0%（785 件）と最も多い。次いで「体温計」70.4%（736 件）、「音の出る絵本」69.8%（730 件）[1]となっている[2]。

なお、「おもちゃ」は 6 割以上、「音の出る絵本」は半数近くが「2 つ以上持っている」と回答している。

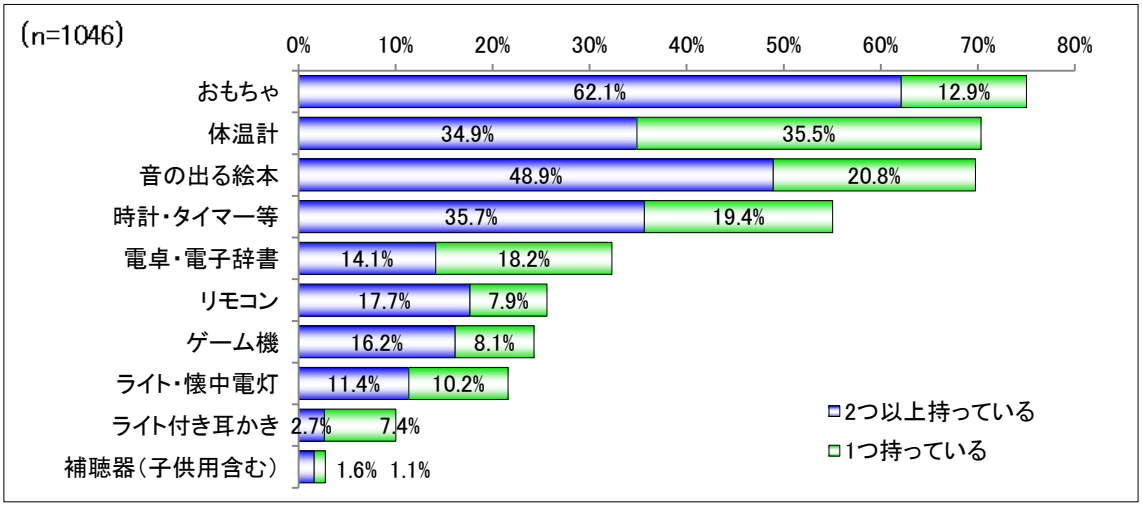

図 1 ボタン電池等使用製品の所有状況(複数回答)

表 1 ボタン電池等使用製品の所有状況(複数回答)

	2 つ以上 持っている	1 つ 持っている	計
おもちゃ	62.1%(650 件)	12.9%(135 件)	75.0%(785 件)
体温計	34.9%(365 件)	35.5%(371 件)	70.4%(736 件)
音の出る絵本	48.9%(512 件)	20.8%(218 件)	69.8%(730 件)
時計・タイマー等	35.7%(373 件)	19.4%(203 件)	55.1%(576 件)
電卓・電子辞書	14.1%(148 件)	18.2%(190 件)	32.3%(338 件)
リモコン	17.7%(185 件)	7.9%(83 件)	25.6%(268 件)
ゲーム機	16.2%(169 件)	8.1%(85 件)	24.3%(254 件)
ライト・懐中電灯	11.4%(119 件)	10.2%(107 件)	21.6%(226 件)
ライト付き耳かき	2.7%(28 件)	7.4%(77 件)	10.0%(105 件)
補聴器(子供用含む)	1.6%(17 件)	1.1%(12 件)	2.8%(29 件)

[1] 各データ（%）は四捨五入を行っているため、合計値が一致しない場合がある（以下同様）。
[2] 選択肢は、「持っていない」「1 つ」「2 つ以上」「確認しないとわからない」の 4 つであり、ここでは確実に持っていると回答したものについて記載している。

(2) ボタン電池等及びボタン電池等使用製品の使用実態について

ア ボタン電池等の購入について

(ア)ボタン電池等の購入場所 Q1

ボタン電池等の購入場所は、**家電量販店、100 円ショップ、スーパー、ホームセンター**となっている。また、「その他」では、「ディスカウントストア」との記述があった。

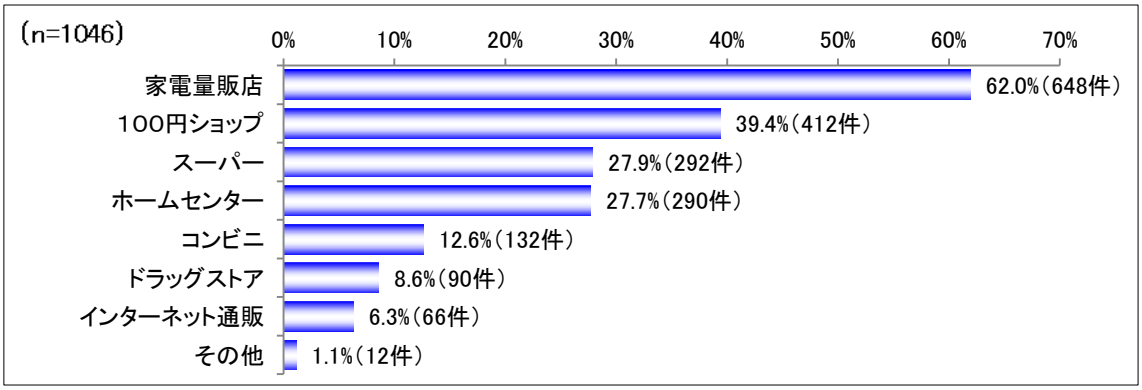

図 2 ボタン電池等の購入場所(複数回答)

(イ)ボタン電池等のメーカー名・ブランド等 Q2

ボタン電池等を購入する場合のメーカー名、ブランドについては、「覚えていない、わからない、気にしていない」が 46.1%（482 件）で最も多く、「上記枠内に記載のメーカー[3]の電池」42.1%（440 件)、「100 円ショップ、スーパー等のプライベート・ブランドの電池」26.3%（275 件）が続いている。

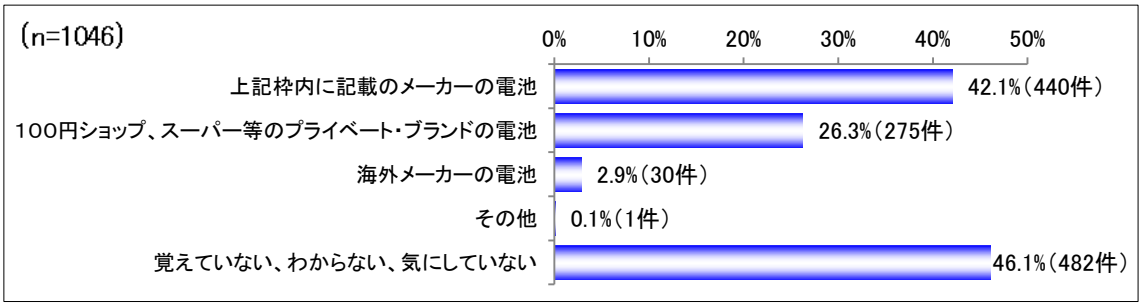

図 3 ボタン電池等のメーカー名・ブランド等(複数回答)

[3] 一般社団法人電池工業会会員企業である「パナソニック、東芝電池、FDK、ソニー、日立マクセル、三菱電機」の 6 社。

(ウ)ボタン電池等購入時の優先事項 Q3

ボタン電池等を購入する際に優先する事項を3つまで聞いたところ、「価格」が85.0%(889件)で最も多く、次いで「メーカー名・ブランド」30.5%(319件)となっている。

「パッケージの開封のしにくさ」「注意表示のわかりやすさ」の安全性に関する回答は1.3%(14件)だった。

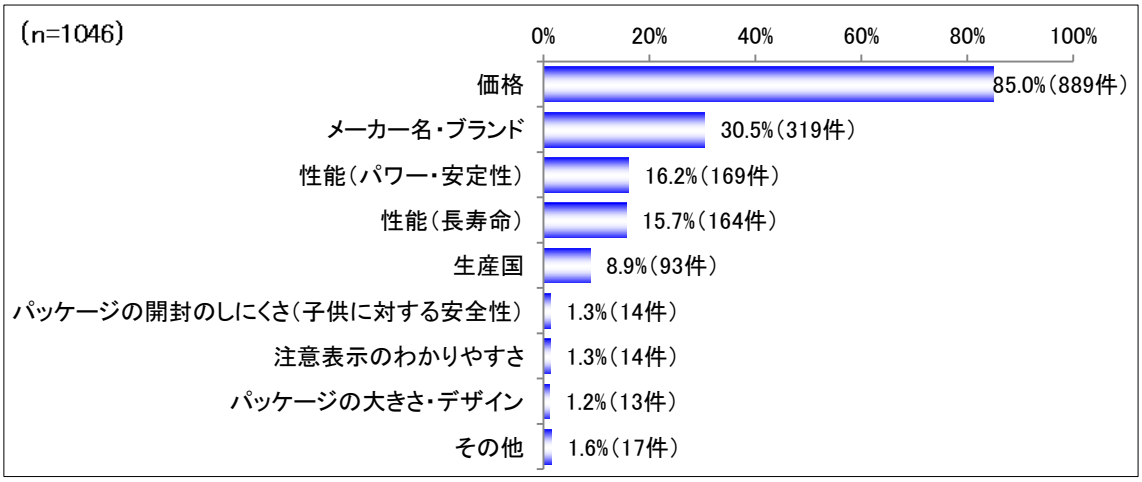

図 4 ボタン電池等購入時の優先事項(3つまで回答)

イ 注意表記について

(ア)ボタン電池等の注意表記 Q4

ボタン電池等を使用する際に、注意表記などについて確認をしているかという問いについては、「取扱説明書または本体の注意表記を確認している」41.5%(434件)に対して、「注意表記がない、気が付かない」が44.9%(470件)、「注意表記はあるが見ていない」が13.6%(142件)であった。約6割の人が、注意表記を読んでいないことがわかる。「注意表記はあるが見ていない」の理由としては、「使用方法を理解しているため確認する必要がない」「面倒である」といった記述が多く、「字が細かくて読む気にならない」といった記述もみられた。

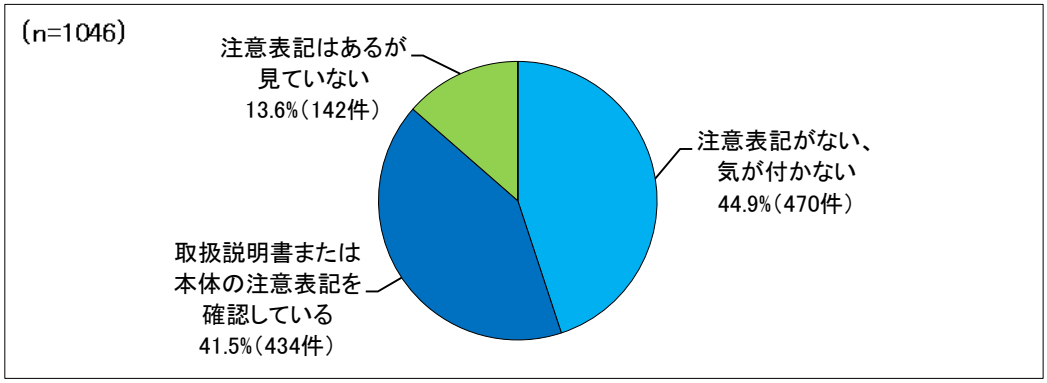

図 5 ボタン電池等の注意表記(単数回答)

(イ)ボタン電池等使用製品の注意表記 Q5

ボタン電池等使用製品の注意表記については、「取扱説明書または本体の注意表記を確認している」45.5%（476 件）に対して、「注意表記がない、気が付かない」が 44.6%（466 件)、「注意表記はあるが見ていない」が 9.7%（101 件）であった。ボタン電池等使用製品についても、半数以上の人が、注意表記を読んでいないことがわかる。「注意表記はあるが見ていない」の理由としては、ボタン電池等の注意表記と同様に「使用方法を理解しているため確認する必要がない」「面倒である」といった記述が多くみられた。

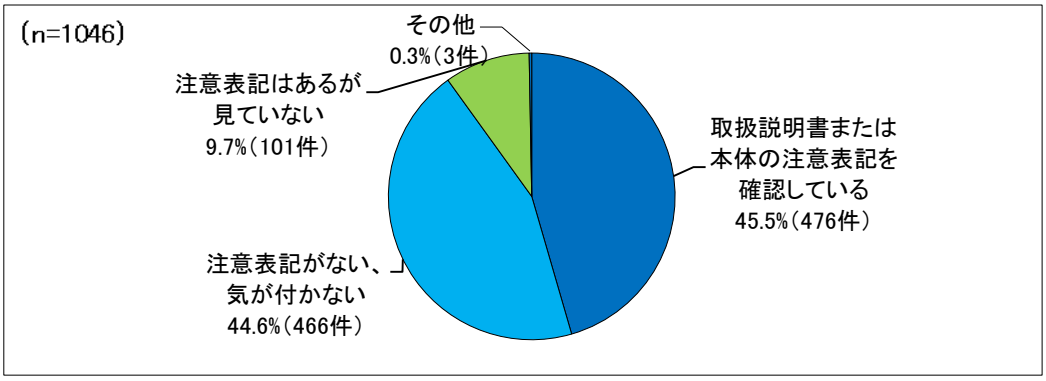

図 6 ボタン電池等使用製品の注意表記(単数回答)

ウ ボタン電池等及びボタン電池等使用製品の使用時に注意していること

(ア)ボタン電池等使用製品について注意していること Q6

ボタン電池等使用製品のうち、おもちゃについて「特に注意していない」が 46.0%（481 件)、次いで「電池室が容易に開かない構造のものを選ぶようにしている」が 44.1%（461 件）だった。おもちゃ以外では、「特に注意していない」が 40.7%（426 件)、次いで「子供にさわらせない」が 30.7%（321 件）であった。

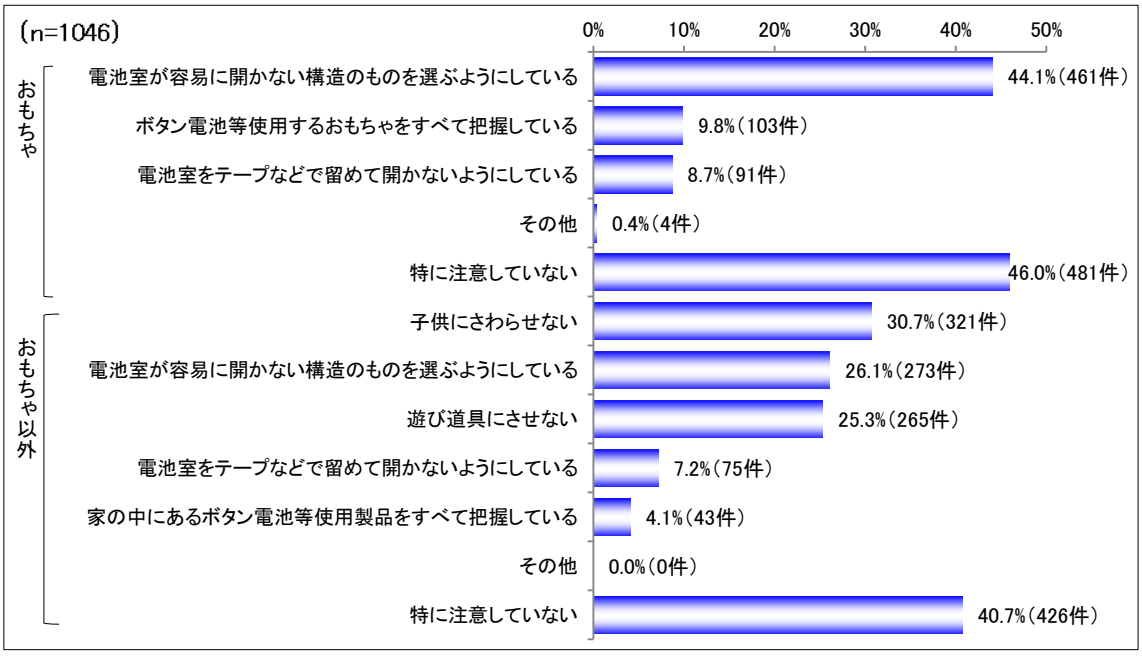

図 7 ボタン電池等使用製品について注意していること(複数回答)

(イ)ボタン電池使用時に注意していること Q7

ボタン電池等の使用にあたり、注意していることについては、「ボタン電池等は子供の手の届かない場所（鍵の付いた場所等）に保管している」が 42.3%（442 件）、「ボタン電池等は子供の見えない場所に保管している」が 41.3%（432 件）だった。次いで、「使用済みのボタン電池等はすぐに回収ボックスに持っていく」20.6%（215 件）、「ボタン電池等の保管場所を家族で決めている」19.1%（200 件）、「ボタン電池等の交換は、子供の目の触れない所で行っている。」18.4%（192 件）であり、「保管しているボタン電池等をすべて把握している」「廃棄の際にはボタン電池等をテープなどで絶縁している」の回答は 10%以下だった。使用時に「特に注意していない」の回答は 23.7%（248 件）だった。

また、「その他」では「ボタン電池の買い置きはしない」「子供に危ないと言い聞かせている」といった回答があった。

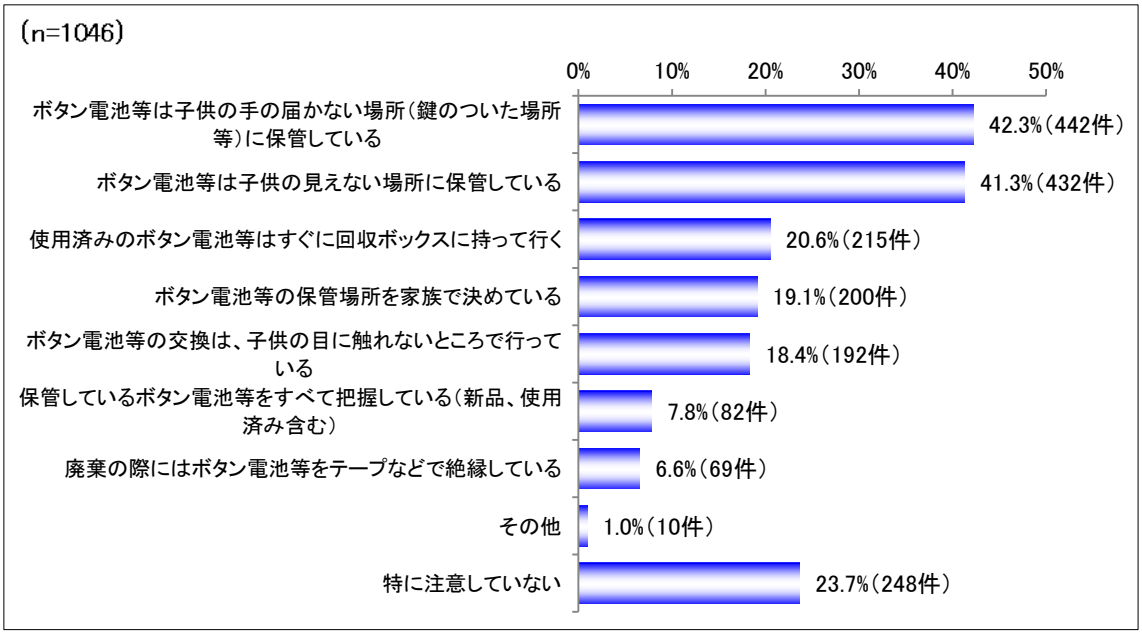

図 8 ボタン電池使用時に注意していること(複数回答)

(3) ボタン電池等誤飲による「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験について

ア ボタン電池等誤飲による「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験 Q8

ボタン電池等誤飲による「危険」「危害」「ヒヤリ・ハット」経験については、全体の 18.9%（198 件）が何らかの経験をしており、その内訳は表 2 のとおりである。

その他の 4 件は、「交換の際にとても興味を持っていた」「キッチンタイマーが落ちて電池がはずれ、子供の方に転がっていってしまった」「子供が一人でいた際に電池が外に出ていた」「電池が切れると交換しようとする。子供がおもちゃで遊んでいる間に、電池を外してなくしてしまった」であった。

本項目は、これら 198 人に、その内容について聞いた結果をまとめた。

表 2 ボタン電池等誤飲による「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験

誤飲し、入院した【危害①】	0 件
受診し、誤飲していた。（入院なし）【危害②-1】	5 件
受診したが、誤飲していなかった。【危害②-2】	1 件
誤飲に気付いたが、すぐに受診しなかった【危害③-1】	0 件
誤飲に気付かず、排泄により初めて気付いた。【危害③-2】	0 件
誤飲しそうになった。口に入れていた。舐めていた。【危険】	29 件
口に入れようとしていた。【ヒヤリ・ハット①】	35 件
電池を手に持っていた。電池で遊んでいた。【ヒヤリ・ハット②】	124 件
その他	4 件
合 計	198 件

イ 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

(ア)「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所 Q9

「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所については、「自宅のリビング」が約 8 割を占める他、ほとんどが自宅の中で発生していることがわかる。

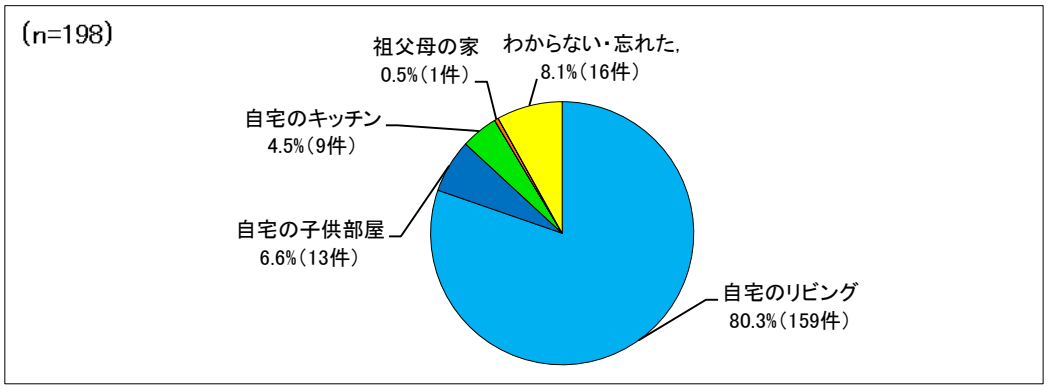

図 9 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所（単数回答）

(イ)「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた電池の種類 Q10

電池の種類については、「ボタン形電池」44.4%（88 件)、「わからない・忘れた」29.3%（58 件)、「コイン形電池」28.8%（57 件）となっている。

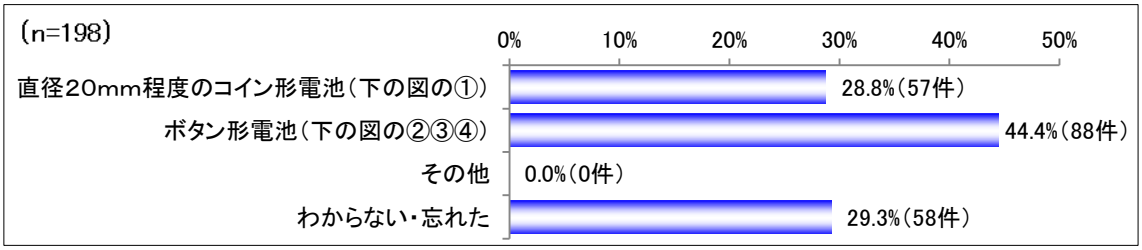

図 10 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた電池の種類（複数回答）

(ウ)「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた際のボタン電池等の状況 Q11・Q12

ボタン電池等の状況について尋ねた問いについては、「電池単体で（バラの状態で）おいてあった・しまってあった」35.4%（70 件)、次いで「電池使用製品内にあったものが外れた」22.7%（45 件)、「開封済みのパッケージ内にあった電池を子供が取り出した」14.6%（29 件)、「未開封のパッケージ内にあった電池を子供が取り出した」8.6%（17 件）となっている。その他の 1 件は「音の出る絵本の電池を交換する際に、とても興味を持ち触りたがった（1 歳 6 か月)」だった。

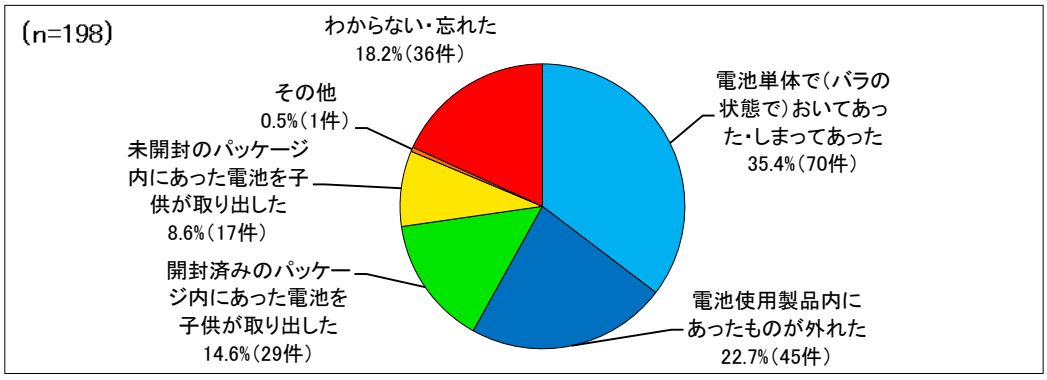

図 11 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた際のボタン電池等の状況（単数回答）

「電池使用製品から外れた」(45 件)「忘れた」(36 件) 以外を回答した 117 件について、さらに電池がどこにあったかを尋ねた問いについては、「交換時に少しの間放置した」39.3%（46 件）が最も多く、次いで「子供の手の届くところに放置していた（置き場所を気にしていなかった)」23.9%（28 件）だった。続いて「未使用のものを、所定の場所で保管していた」23.1%（27 件)、「使用済みのものを、所定の場所で保管していた」12.8%（15 件）で、「所定の保管場所で保管していた」は合計 42 件だった。その他の 1 件は「処分時に少しの間放置した」であった。

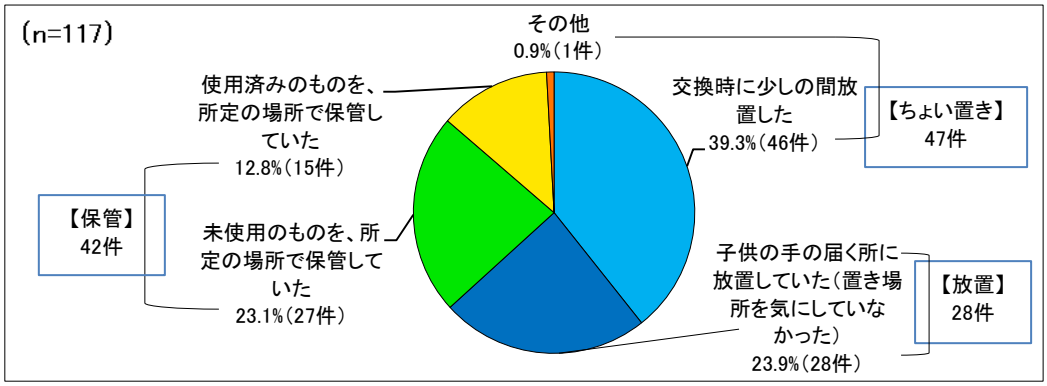

図 12 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたボタン電池等の状況（単数回答）

以上をもとに、経験があった時の電池の状況を整理したものが表 3 である。これらの【ちょい置き】【製品から外れた】【保管】【放置】の 4 つの状況ごとに詳細をまとめた。

表 3 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

【ちょい置き】	交換時や処分時に少しの間放置した	47 件
【製品から外れた】	電池使用製品内にあったものが外れた	45 件
【保管】	所定の保管場所にあったものを子供が取り出した （未使用のもの 27 件、使用済みのもの 15 件）	42 件
【放置】	子供の手の届くところに放置していた （置き場所を気にしていなかった）	28 件
ー	わからない・忘れた	36 件
合 計		198 件

ウ　状況ごとの詳細について

(ア)【ちょい置き】の詳細 Q15

【ちょい置き】47 件に対して、そのとき交換していた電池使用製品は何かを尋ねた結果は以下のとおりであった。おもちゃの件数が 48.9%（23 件）と最も多いのは、所有する数が多いためと推察される。

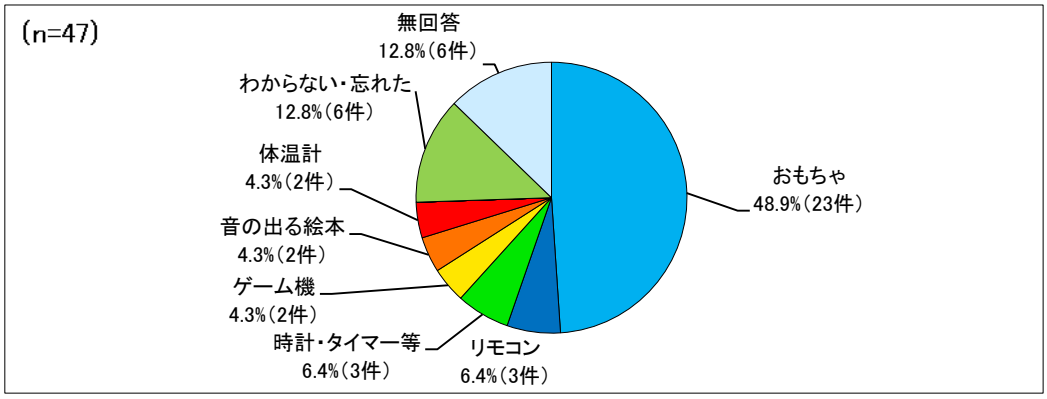

図 13　電池使用製品の種類（交換時に少しの間放置）（単数回答）

その時の電池の状態は、47 件のうち 40 件がバラの状態で置かれたものであったが、開封済みのパッケージから子供が電池を取り出したものが 5 件、未開封のパッケージから子供が取出したものが 1 件あった。

【ちょい置き】	回答数
電池単体で（バラの状態で）おいてあった・しまってあった	40 件
開封済みのパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	5 件
未開封のパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	1 件
その他	1 件
合　計	47 件

(イ)【製品から外れた】の詳細 Q14

【製品から外れた】の 45 件に対して、電池使用製品の種類、購入場所、電池室・ふたの形式、どのように取り出されたかについて尋ねた結果は以下のとおりである。

a. 電池使用製品の種類

電池使用製品は「おもちゃ」62.2%（28 件）が最も多く、次いで「リモコン」が 15.6%（7 件）、「時計・タイマー等」が 13.3%（6 件）となっている。

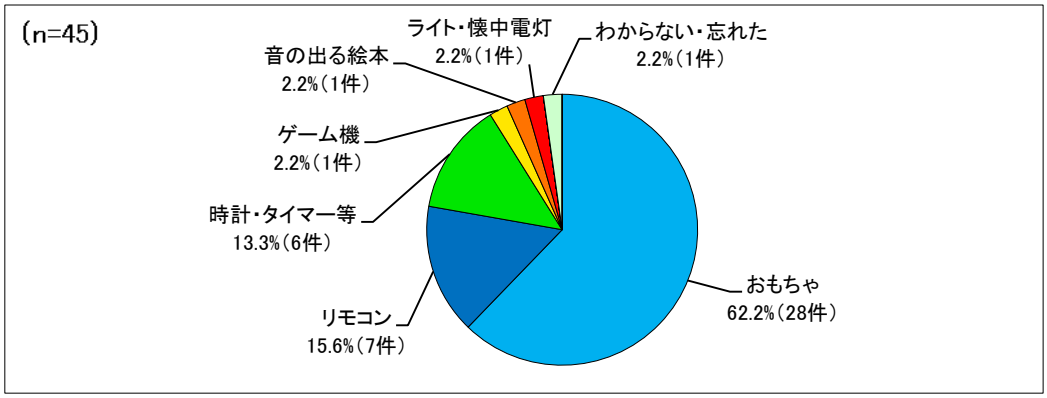

図 14 電池使用製品の種類（電池使用製品内にあったものが外れた）（単数回答）

それぞれの電池使用機器について、品名、メーカー名等の詳細を確認した結果は以下のとおりである。

① おもちゃ（28 件）

おもちゃの種類	回答数	品名、メーカー名等
音が鳴ったり動いたりするぬいぐるみ	6 件	電車のおもちゃ、電車、電話、犬のぬいぐるみ、他不明
液晶画面表示のついた電子おもちゃ	4 件	不明
光るアクササリー	5 件	ペンライトのようなおもちゃ、魚、イルミネーションの棒、お祭りで購入、不明
おもちゃのペンライト	1 件	不明
上記以外の光るおもちゃ	2 件	夜店で買った光る剣、景品等でもらったもの
その他	2 件	時計、100 円ショップで買ったおもちゃ
不明	8 件	不明

② リモコン（7 件）

リモコンの種類	回答数	品名、メーカー名等
エアコン	2 件	国内メーカー（2 件）
テレビ・ビデオ	3 件	国内メーカー（1 件）、他不明
おもちゃ	1 件	不明
不明	1 件	不明

③ 時計・タイマー（6 件）

時計・タイマーの種類	回答数	品名、メーカー名等
キッチンタイマー	6 件	100 円ショップで購入したもの（4 件）、他不明

④ ゲーム機（1 件）

ゲーム機の種類	回答数	品名、メーカー名等
携帯ゲーム機	1 件	不明

⑤ 音の出る絵本（1 件）

種類	回答数	品名、メーカー名等
音の出る絵本	1 件	不明

⑥ ライト・懐中電灯（1 件）

ライト・懐中電灯の種類	回答数	品名、メーカー名等
ペンライト	1 件	コンサートグッズ

b. 電池使用製品の購入場所 Q16

購入場所は「家電量販店・スーパー・ホームセンター」が 20.0%（9 件）と最も多く、次いで「おもちゃ・ベビー・子供用品専門店」15.6%（7 件）、「100 円ショップ」11.1%（5 件）となっている。また、「人からもらった」「景品・粗品・おまけでもらった」などの回答もあり、入手経路は様々である。その他の 2 件は、「夜店」「祭りの屋台」でいずれもおもちゃであった。

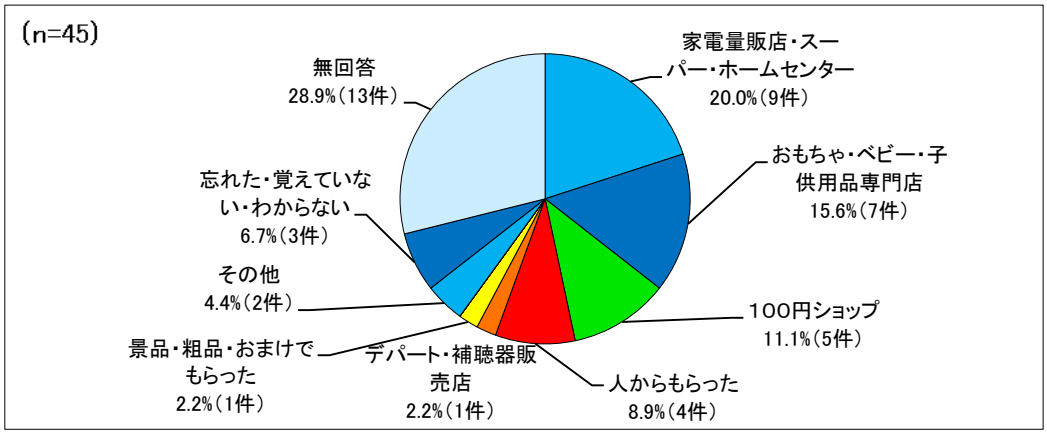

図 15 電池使用製品の購入場所（単数回答）

おもちゃ（28 件）のうち購入場所が判明しているもの 18 件については、11 件が家電量販店・スーパー、デパート、おもちゃ店等であり、人からもらったもの 3 件、景品等でもらったもの、100 円ショップ、夜店、祭りの屋台で購入したものがそれぞれ 1 件であった。

c　電池使用製品の電池室・電池ふたの形式 Q17

「スライド式（電池ふたがスライド）」37.8%（17 件）が最も多く、次いで「ねじ止め式」8.9%（4 件）、「つまみ式」6.7%（3 件）であった。工具を使用しないでふたが開けられる製品が半数以上であり、工具不要でも「2 つの独立した操作を必要とするもの」は無かった。

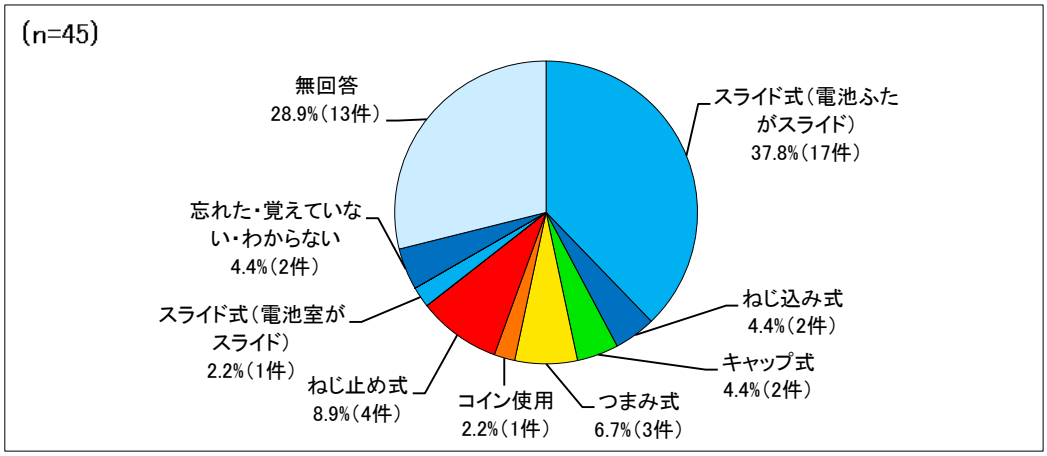

図 16　電池使用製品の電池室・電池ふたの形式（単数回答）

d.　どのように取り出されたか Q14

電池がどのように製品から外れたかについては「子供（本人）が製品をいじって、電池を取り出した」55.6%（25 件）が半数以上をしめており、本人の兄・姉がいじって取り出したもの 4.4%（2 件）あった。次いで「子供（本人）が製品を（投げたり噛んだりして）壊して、電池が出てしまった」13.3%（6 件）、「電池のふたを閉め忘れた。きちんと閉まっていなかった」11.1%（5 件）となっている。

製品種類別の整理を、表 4 に示す。

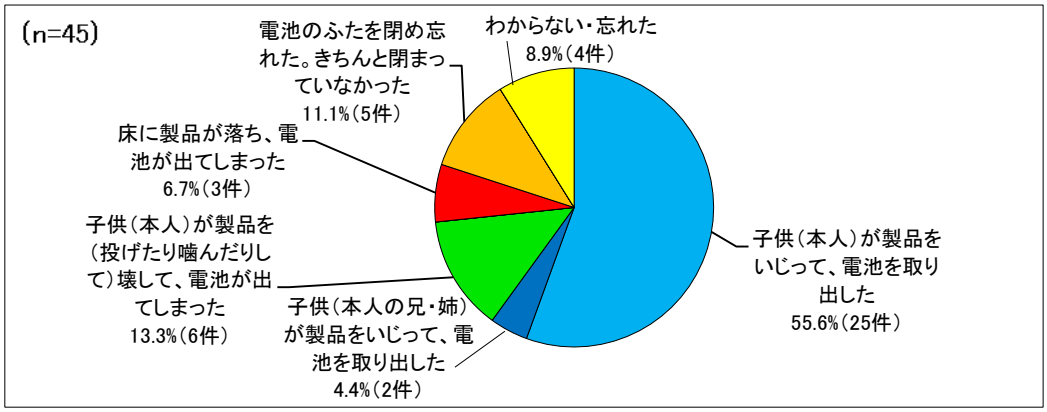

図 17　電池がどのように製品から取り出されたか（単数回答）

表 4　電池がどのように製品から取り出されたか（電池使用製品の種類別）（単数回答）

	子供（本人）が製品をいじって、電池を取り出した	子供（本人の兄・姉）が製品をいじって、電池を取り出した	子供（本人）が製品を（投げたり噛んだりして）壊して、電池が出てしまった	床に製品が落ち、電池が出てしまった	電池のふたを閉め忘れた。きちんと閉まっていなかった	わからない
おもちゃ	18件	1件	3件	―	3件	3件
ゲーム機	―	―	―	1件	―	―
時計・タイマー等	2件	―	1件	2件	―	1件
リモコン	3件	1件	2件	―	1件	―
音の出る絵本	―	―	―	―	1件	―
ライト・懐中電灯	1件	―	―	―	―	―
わからない・忘れた	1件	―	―	―	―	―
合　計	25件	2件	6件	3件	5件	4件

(ウ)【保管】の詳細 Q13

【保管】は、未使用電池 27 件、使用済み電池 15 件の合計 42 件であった。

保管していた「所定の場所」として多かったのは、「引き出しの中」47.6%（20 件）、「棚やテーブルの上」23.8%（10 件）であった。

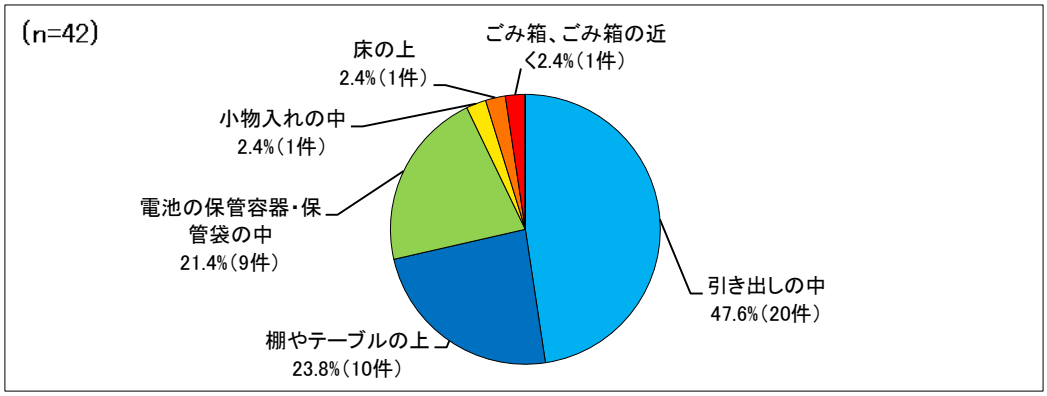

図 18 電池の保管場所（単数回答）

なお、未使用のものを保管していた 27 件のうち 10 件は未開封パッケージ、12 件は開封済みパッケージ、5 件がバラの状態であった。

【(未使用)保管】	回答数
未開封のパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	10 件
開封済みのパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	12 件
電池単体で(バラの状態で)おいてあった・しまってあった	5 件
合　計	27 件

(エ)【放置】の詳細 Q13

【放置】28 件に対して、ボタン電池等の具体的な場所を尋ねた。置き場所を気にしていなかった人が放置していたのは「棚やテーブルの上」39.3%（11 件）「引き出しの中」25.0%（7 件）などとなっている。

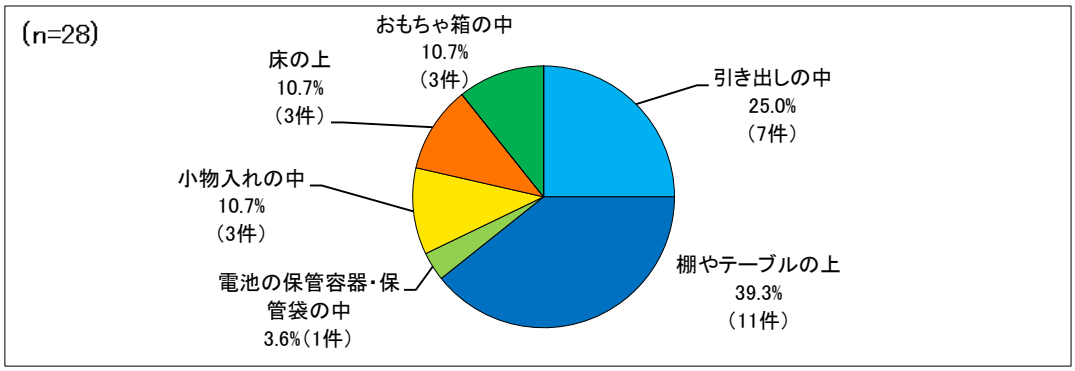

図 19 放置していた事例における放置場所（単数回答）

なお、電池の状況は、未開封 6 件、開封済みパッケージ 12 件、バラの状態 10 件であった。

【放置】	回答数
未開封のパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	6 件
開封済みのパッケージ内にあった電池を子供が取り出した	12 件
電池単体で（バラの状態で）おいてあった・しまってあった	10 件
合　計	28 件

エ　「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた時の子供について

(ア)子供の年齢 Q18

「2 歳」が 37.4%（74 件）と最も多く、次いで「1 歳」33.8%（6 件)、「3 歳」13.6%（27 件）となっている。もっとも低い月齢は、0 歳 6 か月であった。

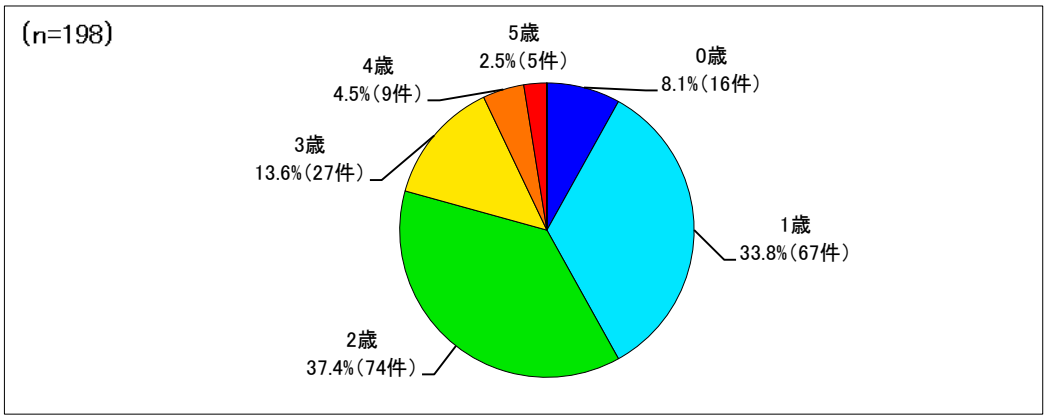

図 20　子供の年齢(「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験全体)(単数回答)

なお、「危害」「危険」経験の 35 件だけについてみると、最も多いのは 1 歳（13 件)、次いで 2 歳（11 件)、0 歳（6 件）となっている[4]。

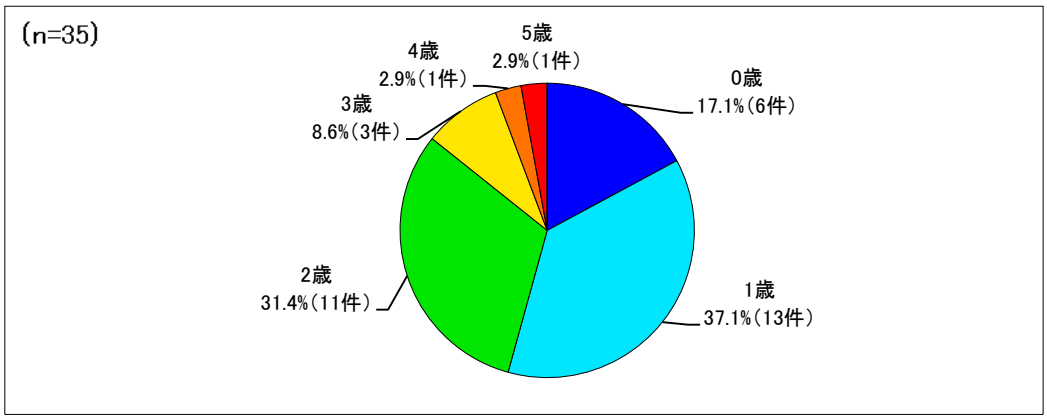

図 21　子供の年齢(「危害」「危険」経験の 35 件)(単数回答)

[4]第一回協議会資料 3 の事故事例調査（東京消防庁救急搬送事例、国立成育医療研究センター受診事例、全国消費生活情報ネットワーク・システム（PIO-NET）報告事例より、東京都が把握整理したもの）において、実際の誤飲があった事例の過半数が 1 歳であった。

(イ)何人目の子供か Q19

「第 1 子」が 67.2%（133 件)、「第 2 子」が 24.2%（48 件）という結果であった。

姉・兄がいるケースでは「4 歳の兄が未開封のボタン電池を開封し、2 歳の弟が舐めていた」「上の子がこたつの上で見つけた電池を、10 か月の下の子に渡してしまった」という回答があった。

一方、Q18 の回答で、0 歳の子供 16 件のうち、8 件は第 1 子であった。兄姉のいない 0 歳児が 1 人でいる状況であっても「電池を口に入れようとした」「口に入れてもごもごしていた」などの回答が複数見られた。

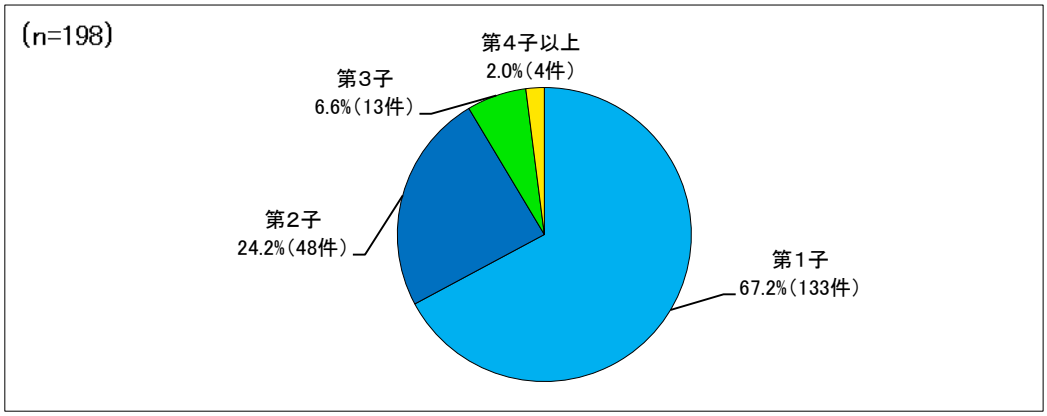

図 22 何人目の子供か(単数回答)

オ 誤飲発生時の状況(自由記入)Q20

【危害②-1】事例（病院を受診し、誤飲していた（入院なし））5 件について、誤飲事故が発生した時の状況は、それぞれ下記の通りである。

- まだ歩きがおぼつかない状態で、子供の手の届く所（小物入れの中）に放置していた開封済みのパッケージから、子供が電池を取り出し飲み込んだ。(1 歳 2 か月)（電池種類：コイン形電池）
- 体温計の電池を交換しようと思って、交換後、古い電池を棚の上においておいたら、子供が台に上っていつの間にか手に取り、口に入れて遊んでいた。遊びながらのんでしまったよう。(1 歳 10 か月)（電池種類：コイン形電池）
- 子供が、引き出しにあった開封済みのパッケージから電池を取り出してなめていた。(1 歳 10 か月)（電池種類：コイン形電池）
- 他の部屋にいるときに泣き出したため見に行くとおもちゃの電池がないことにきづき、すぐに救急車をよんだ。すぐに病院が決まらず結局 4 時間後に内視鏡手術をする予定だったが、のどに電池が張り付いていて結局のどを開いて取り出した。(2 歳 10 か月)（製品：音が鳴ったり動いたりするぬいぐるみ（品名・メーカー名不明)、電池ふたの形式：コイン使用、電池種類：ボタン形電池）
- 未開封のパッケージを所定の場所（保管容器・袋）に保管していたものを、子供が取り出して飲み込んだ。(3 歳 9 か月)（電池種類：コイン形電池）

カ　「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた原因 Q21

「保護者が子供から目を離してしまった」50.0%（99 件）、「置き場所について、保護者の配慮が足りなかった」46.5%（92 件）となっており、保護者の責任と考える回答が多い。

また、「保護者が子供から目を離してしまった」と「置き場所について、保護者の配慮が足りなかった」のどちらかかに回答している人は全体の 8 割をしめている[5]。

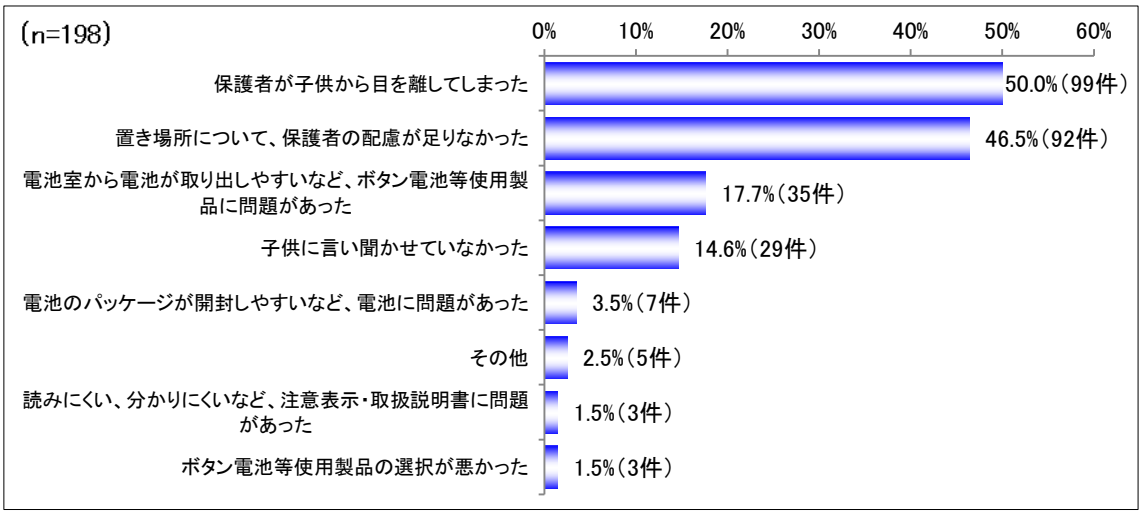

図 23　「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた原因（複数回答）

[5] 「保護者が子供から目を離してしまった」と「置き場所について、保護者の配慮が足りなかった」のどちらかを回答したものは 80.3%（159 件）であった。

さらに、これを【製品から外れた】の 45 件と、【ちょい置き】の 47 件についてみると、両者ともに「保護者が子供から目を離してしまった」が最も多い。しかし、2 番目に多い回答については、【製品から外れた】の回答者は「電池室から電池が取り出しやすいなど、ボタン電池等使用製品に問題があった」が 37.8%（17 件）であり、【ちょい置き】の回答者では「置き場所について、保護者の配慮が足りなかった」が 55.3%（26 件）だった。

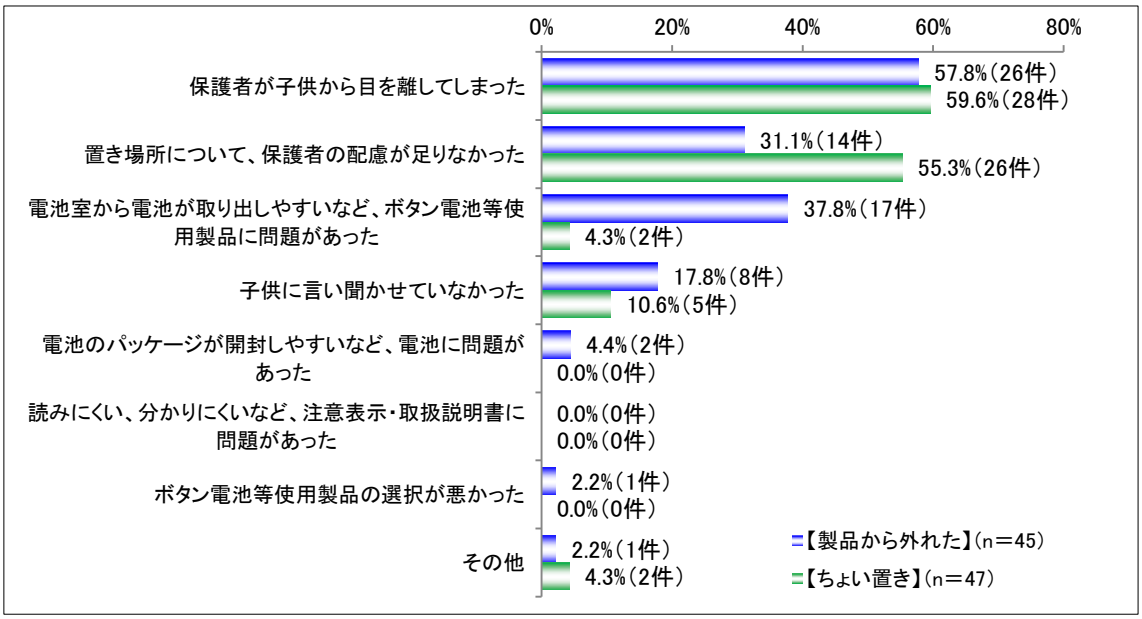

図 24 2 つの「ボタン電池等の状況」における
「「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた原因（複数回答）」の比較

キ 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた時の報告の有無 Q22

ボタン電池等の「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた時に、ボタン電池等使用製品や電池についてどこかへ報告をしたかという問いについては、「報告しなかった」95.5%（189 件）となっており、ほとんどの人がどこにも報告をしていないことが分かる。

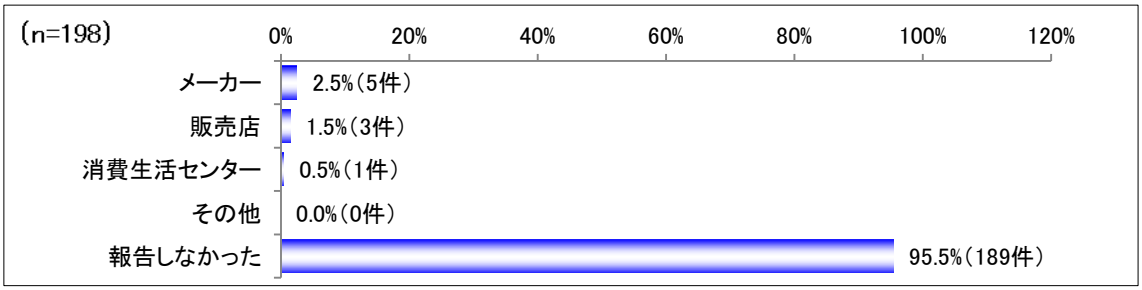

図 25 「危害」「危険」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた時の報告の有無（複数回答）

(4)ボタン電池等誤飲による事故についての認知

ここからの質問は、調査対象者全員（1,046 人）に聞いている。

ア ボタン電池等誤飲による事故が起きていることを知っているか Q23

乳幼児がボタン電池等を誤飲して、入院に至る重症事故が起きていることを知っているか尋ねたところ、「知っている」68.5%（716 件）、「誤飲については知っているが、重症事故があることは知らなかった」18.9%（198 件）、「知らなかった」12.6%（132 件）という結果であった。

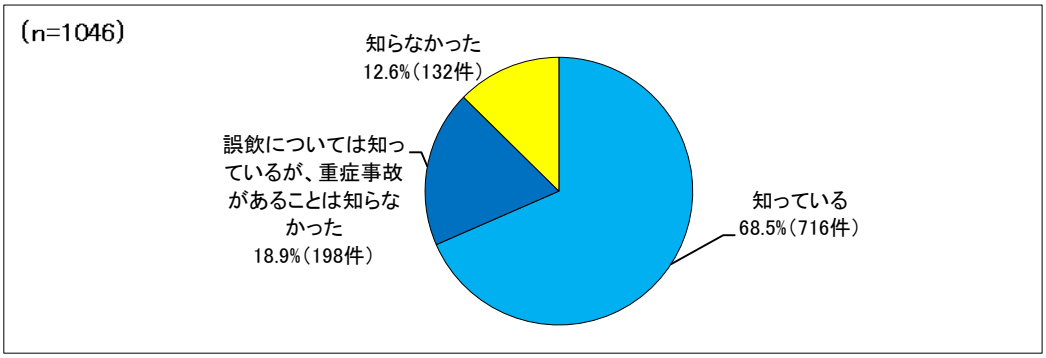

図 26 ボタン電池等誤飲による事故が起きていることを知っているか（複数回答）

なお、平成 26 年 3 月に、0 歳から 3 歳までの乳幼児の保護者 3,248 人に対し実施された消費者庁によるアンケート調査結果では、重症事例があることを知っているのは 4 割弱であったが、今回の調査では 7 割弱となっており、ボタン電池等の危険性についての認知度が高まりつつあることが伺われる。しかし、未だ知らない人も約 3 割いる。

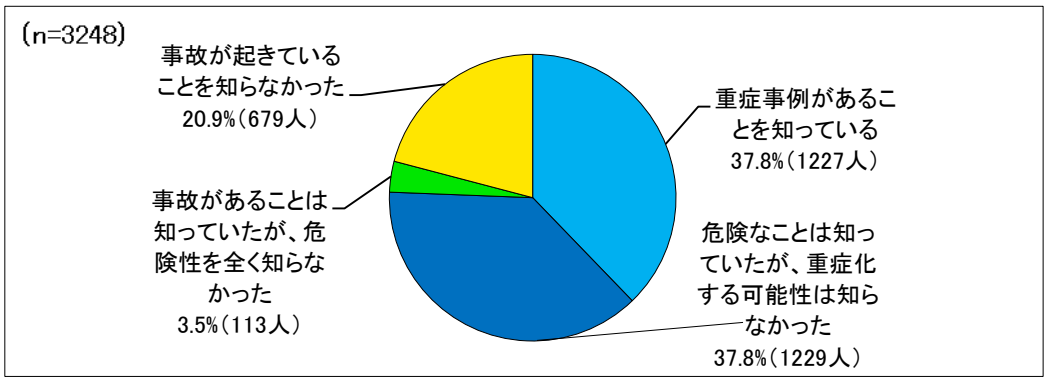

図 27 ボタン電池誤飲による重症事例の認識
資料）消費者庁・独立行政法人国民生活センターニュースリリース（2014.6. 18）.より東京都作成

また、ボタン電池等使用製品やボタン電池等の使用時に注意していることを尋ねた結果を、図 7・図 8 に記載したが、これについて、誤飲事故について知っているかどうかによって分析すると、「(重症事故があることを) 知っている」人の方がいろいろな注意をしていることがわかった。たとえば、電池について「特に注意していない」と回答したのは、「知っている」と回答した人が 19.4% (139 件) に対し、「知らなかった」と回答した人は 45.5% (60 件) であった。

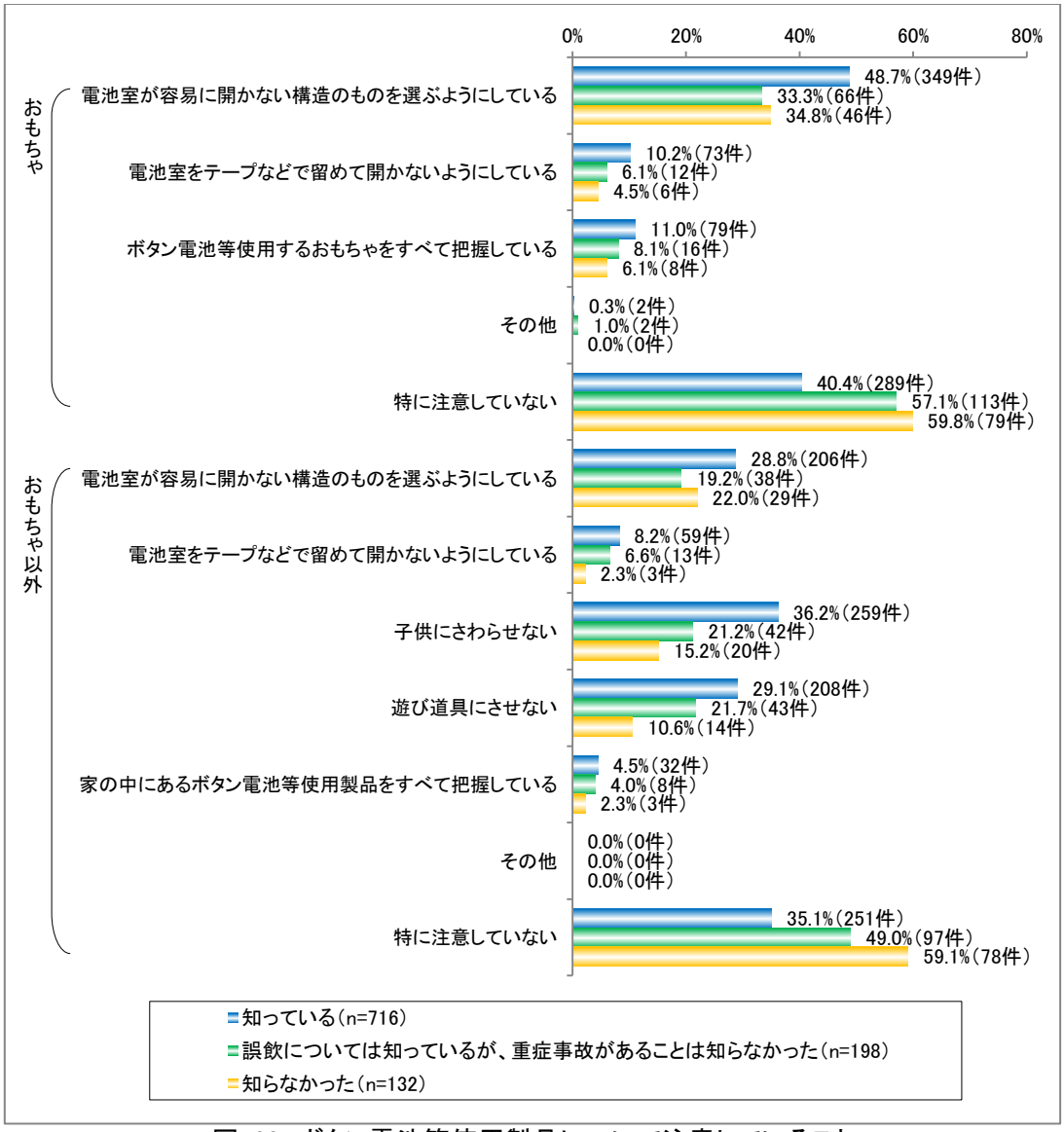

図 28 ボタン電池等使用製品について注意していること
(ボタン電池等誤飲事故の認知別)(複数回答)

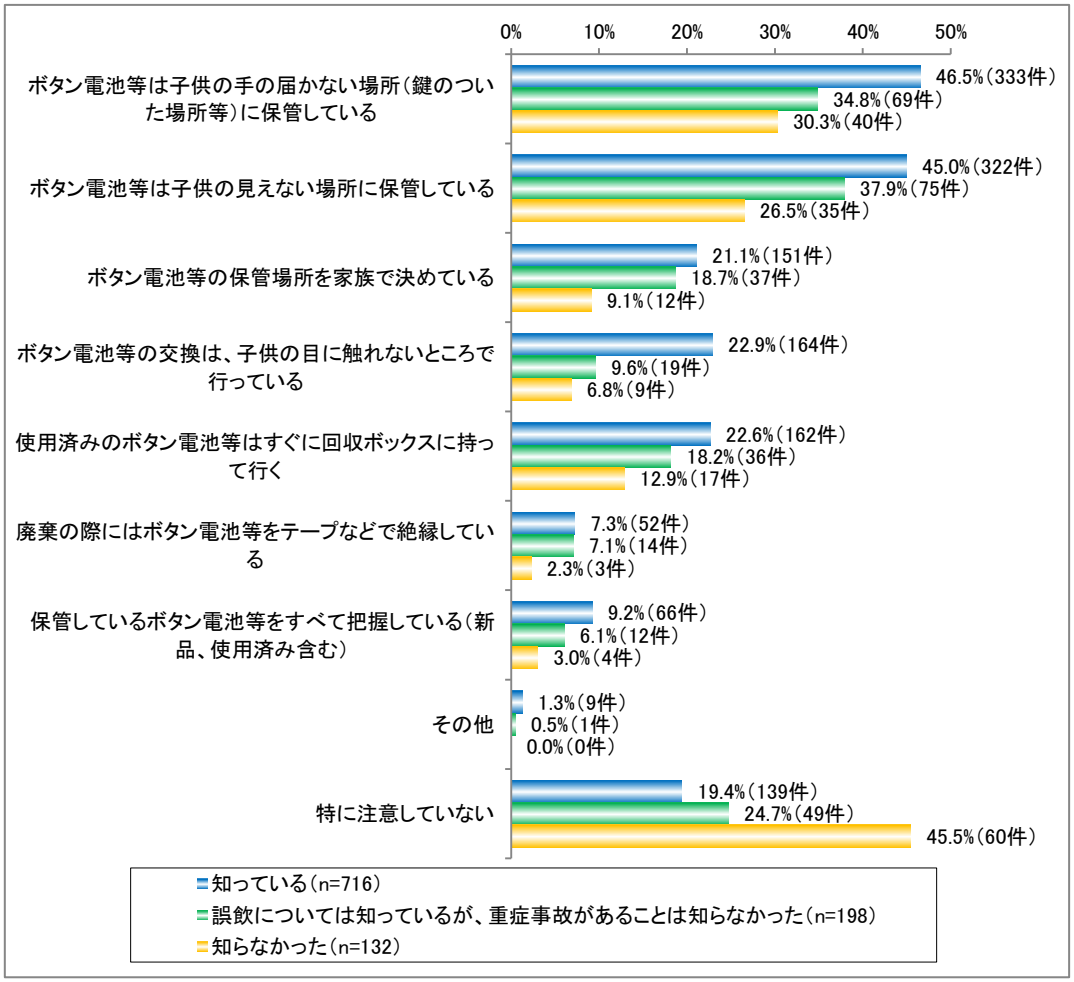

図 29 ボタン電池等使用時に注意していること
（ボタン電池等誤飲事故の認知別）（複数回答）

イ コイン形リチウム電池の危険性について知っているか Q24

特に、コイン形リチウム電池（一般のボタン形電池より少し大きめの直径約 20mm の電池）の誤飲が死に至る危険性があるということを知っているという問いについては、「知らなかった」53.1%（555 件）、「知っている」46.9%（491 件）という結果であった。

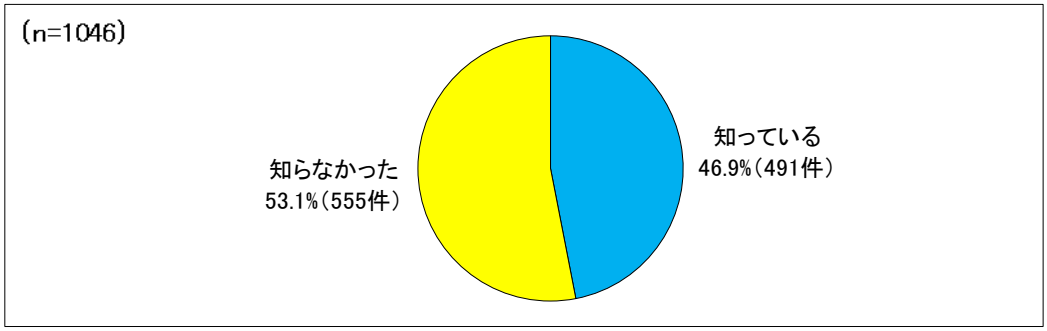

図 30 コイン形リチウム電池の危険性について知っているか（複数回答）

(5)ボタン電池等およびボタン電池等使用製品に対する意見・要望等 Q25

ボタン電池等及びボタン電池等使用製品の子供への安全性について、感じていることや考えていること（不安や疑問）、事業者（メーカー、販売店等）や行政への要望・意見等についての自由記述欄には、1,046 件中 553 件に何らかの回答があった。記述内容の傾向は以下のとおりである。

ア ボタン電池等およびボタン電池等のパッケージの改良を求める意見（117 件）

- 触ると危険でない程度にピリッとしたり子供が触りたがらない形状にして欲しい。
- 口に入れると思わず吐き出してしまうような苦い味を付ける。
- 子供が誤って飲み込めないような形にして欲しい。円形より四角にするとか。
- 飲み込んでも体に害がなく、排出される物を造ってほしい
- もっと目立つ色にしてほしい。蛍光とか。転がった時に探しにくく大変だった。
- 電池交換が面倒なので、電池の耐久性を延ばすよう研究してほしい。
- 電池のパッケージは全て簡単に子供の手で開けられないようにしてほしい。

イ ボタン電池等使用製品の改良を求める意見（75 件）

- メーカーに対して。ボタン電池を使う製品には、子供の握力では動かない蓋にしてほしいです。ライターのチャイルドロックのように、仕掛けを作るなど。
- 小さいものは、電池交換の際に飛び出したりして見失うことも多いと思います。本当に危険なので飛び出さない形状にするなど工夫をして欲しい。
- 落としたりしても簡単に蓋があかないようにしてほしい
- ボタン電池を使用する製品は全て、ドライバーを用いなければ開閉できない構造にしてほしい。
- おもちゃに限らず、電池室はネジで固定するタイプが良いと思う。

ウ ボタン電池等回収についての意見（27 件）

- ボタン電池の回収が限られた場所でしか行われていないので、もっと増やしてほしい。
- 新品の電池のパッケージが古い電池を回収できるようになっていると、電池を裸で置かなくても済む
- 使用済み電池を処分するのがめんどう。ついつい家に貯めこんでしまい危ない。気軽に捨てられるように、回収できる場所を増やしたりわかりやすくしたりして欲しい。
- ボタン電池はごみ収集で捨てられないので、自宅に置いたままにしている人が多いと思います。普段のゴミで回収出来るようにすれば事故の件数を減らせると思います。
- 電池を回収すると何円かのキャッシュバックか，預り金などがあると回収率が上がるのではないかなと，思う。

エ　ボタン電池等使用の廃止を求める意見（98 件）

- ボタン電池はいらないと思う。取り出せない充電式の電池に変えるとかでなくせそう。
- 誤飲しやすいボタン電池をそもそも使わずに済むようにして欲しい
- ボタン電池じゃなくて単４とか単５の電池で動くものを増やしてほしい
- できればボタン電池は使用しないようにして欲しい
- できればボタン電池を使わないで済む方法で商品開発をしてほしいと思う。

オ 注意喚起・啓発を求める意見（78 件）

- 電池について理解していない人が多いので、啓発した方が良い
- もっと注意喚起してほしい。TV 番組、商品パッケージに記すなど。
- 危険であることをもっと宣伝した方がいい
- 誤飲の事例について、公表してもらいたい
- 子供の誤飲危険！とパッケージに大きく表示するなど、ひと目で危険性が分かる様にしたらいいと思います。
- 使用する側も注意することが大事だと思いますが、販売店などでもっと注意喚起すべきだと思います。売り場にでかでかと掲示があれば嫌でも目に入ると思うので。
- わかりやすく、危険性を提示して欲しい。製品に記載するだけでなく、病院や行政、子供が集まるような施設などに、具体的にボタン電池がどう危険なのか、どのように注意するべきかがわかるポスターなどがあると良いと思う。
- 誤飲した場合のその場の応急処置について何か簡単なガイドラインが電池の包装に記載してあれば良いです。

カ　親の注意・配慮を求める意見（97 件）

- 親の管理で防ぐことができる部分が大きいと思う。
- とにかく親が気をつけることが第一だと思いますが、気をつけていても事故は起こるのだな、と感じているからこわい。
- 親の責任なので、子供の手の届かない場所に保管すべき。
- 注意書き等は内容もしっかり書かれているので問題ないと思います。もっと子供を持つ親側が注意したり勉強するほうが必要ではないかと常々感じています。

キ　その他の意見（61 件）

- 乾電池とボタン電池の両方が使える仕様があったら良いなと思ったことはある。子供が何でも口にしてしまう時期のオモチャで『万が一開いてしまったら』と思う。ネジなども何度か電池交換をすると、緩んだりネジ穴がダメになりやすいので。また、口にしたら苦かったり辛いなどで飲み込まないようにしてあったらいい。保管用のばらつかない専用ケースがあると、管理しやすい。
- 販売店には、電池を子供の手の届く位置に置かないようにしてほしい
- 専用ケースを作って行政で配布し、周知する。
- 保管するためのケースを販売してほしい